

# 歴史教室

## 前期松平氏の足跡を探る(2) 松平三代信光、四代親忠の遺産

松平三代信光は、どのようにして西三河に勢力を拡大していったのでしょうか。足利被官（家臣）たちの一揆を鎮めた信光が、「十四松平家」と呼ばれている一族を形成した様子や、拠点であった岩津から、安城へ宗家が移った経緯はどのようなものだったのでしょうか。そして四代目の親忠が果たした役割とは。

岡崎市内には松平・徳川関係の史跡や遺跡が数多く残されていますが、信光明寺や滝町萬松寺、大樹寺、伊賀八幡宮、岡崎城など、代表的なものも多くがこの時代に創建されました。後世、家康公も徳川幕府もこれらの寺社を大変崇敬し、手厚い保護を行っています。今回の歴史教室は、これらの史跡や史料を辿りながら、天下人を生む母胎となった信光、親忠の実像に迫ってみたいと思います。混乱の時代を生き抜き、秩序ある平和社会を構築した、家康公のDNAを垣間見ることができれば幸いです。



(上) 松平信光所用「藍染纏陣羽織」／滝町萬松寺  
(下) 松平親忠所用熊毛兜／伊賀八幡宮蔵



平成24年2月19日(日)午後2時～4時30分

参加費 おかざき塾会員  
一般参加

【おやつ・資料代含】

長養館  
1000円  
1500円

### 2月19日(日)「歴史教室」参加申込み用紙

- 参加ご希望の方は、申込み用紙にお名前・お電話番号をご記入のうえ、2月17日(金)までに「歴史教室」市橋まで、ファックスにてお送り下さい。

お電話またはEメールでも結構です。(市橋 FAX:23-3298、 [aijobun@ybb.ne.jp](mailto:aijobun@ybb.ne.jp))

お名前:

お電話番号: